

3【解説】それぞれの人権課題

あらゆる人権課題の解決には正しい知識を備え、偏見をなくし、正しく伝えることが大切です

障がい者

身体障害・知的障害・精神障害の3つに大きく分かります。障がいのある人々の社会参加が進んでいますが、いろいろな場面で障壁(バリア)による不利益が生じています。また障がい者に対する偏見や差別意識が根強くあり、その自立と社会参加が十分とはいえません。

高齢者

高齢者に対する職業差別、家庭内や介護施設等における身体的・心理的虐待や介護放棄、財産権の侵害などの人権問題が発生しています。また、高齢者への差別や虐待は外部が気づきにくく、発見が遅れてしまう例も少なくありません。

女性

現在も女性差別意識(固定的な性別役割分担意識、男性中心の習慣など)が根強く残っています。家庭や職場における男女差別、性犯罪等の女性に対する暴力、パートナーからの暴力、職場におけるセクシュアル・ハラスメント(性的ないやがらせ、いじめ等)やマタニティ・ハラスメント(妊娠・出産等を理由とする不利益な取り扱い)など女性に対する人権侵害が社会問題となっています。

子ども

子どもへの虐待が増加しています。虐待は心を傷つけるだけでなく、命にかかわる問題でもあるため、虐待を受けたと思われる子どもを発見した場合は、通告する義務が定められています。また学校でのいじめや不登校などは教育面だけでなく、社会的にも重要な問題です。

同和問題(部落差別問題)

同和地区(被差別部落)と呼ばれる地区の出身者であること、あるいは住んでいることを理由にうける差別です。日本固有の人権問題で結婚や就職などにおいて差別をうけるという人権侵害がおこっています。現在ではインターネットや SNS 上に部落差別を助長するような書き込みが多く見られることも問題となっています。

HIV 感染者等

エイズの原因である HIV ウイルスは感染力が非常に弱く、非感染者と日常生活を共にすることができます。しかし誤った認識や偏見により職場での迫害、入園や入学の拒否、医療現場における差別やマスメディアの報道におけるプライバシー侵害等の問題が生じています。新型コロナウイルス感染症においても感染者やその家族への偏見によるいやがらせなどの問題が発生しています。

ハンセン病元患者等

ハンセン病は、らい菌による感染症で、主に皮膚や末しょう神経が侵されるなどの症状がおこる病気ですが、感染力はとても弱く、感染しても発症することはごくまれです。現在では治療法も確立し、治る病気となりましたが、最近まで遺伝病であると誤解され、本人だけでなく家族も差別されてきました。

LGBTQ(性自認・性の多様性)

LGBTQ とは、L(レズビアン/女性の同性愛者)・G(ゲイ/男性の同性愛者)・B(バイセクシャル/男性、女性の両方を愛することができる人)・T(トランスジェンダー/主に身体的な性別と性自認が一致しない人)・Q(クエスチョニング/自分の性がわからない、意図的に決めていない、決まっていない等)を指す言葉で認知度は年々高まっており、現代社会でも少しずつ受け入れられてきています。その一方で理解を示さない人もまだ多く、根強い差別があることも問題になっています。

また、本人の性認識が LGBTQ に当てはまらない人をあらわす名前も増えています。一人ひとり性のあり方はさまざまです。今は名前のない性のあり方でも近い将来には世界で通じるような名前がたくさんできてくるでしょう。

外国人

交流を通じて相互理解が進んではいますが、言語・宗教・文化・習慣などへの理解不足から雇用や日常生活などで問題が起きています。また近年では、特定の国の出身であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり、危害を加えようとするなどの一方的な言動であるヘイトスピーチなども社会的問題となっています。

インターネットによる人権侵害

インターネットの匿名性を悪用し他人への中傷、無責任なうわさ、個人のプライバシーに関する情報の無断掲示、差別的な書き込み、インターネット上でのいじめなど人権を侵害する情報発信が増えています。

大規模災害発生時の人権問題

避難所ではプライバシーが保護されないという問題の他に、高齢者、障がい者、乳幼児、外国人などの災害時要支援者等に対する配慮不足が問題となっています。

犯罪被害者等

犯罪被害者やその家族は、事件による直接的な被害だけでなく、被害にあったことによる精神的な苦痛や身体の不調、また心ないうわさなどによって、名誉を傷つけられたり、マスメディアの過剰な報道によるプライバシーの侵害などが発生しています。

4 宿毛市人権尊重の社会づくり協議会委員名簿

(敬称略)

委 員	選出区分(所属団体)
谷岡 啓二郎	学識経験者(宿毛市人権教育研究協議会)
中川 貢	学識経験者(部落解放同盟宿毛市協議会)
菱田 明美	学識経験者(宿毛市連合婦人会)
濱田 周子	学識経験者(宿毛市民生児童委員協議会)
横山 昌二	学識経験者(宿毛中学校)
澤田 清隆	学識経験者(宿毛授産園)
河原 敏郎	学識経験者(幡多希望の家)
筒井 大八	学識経験者(筒井病院)
大塚 勉	学識経験者(宿毛市社会福祉協議会)
鎌田 明子	学識経験者(人権擁護委員)
嵐 仁美	学識経験者(人権擁護委員)